

# 「安全と安心のまち本庄」の実現を 市民・議会・行政のパートナーシップによる

吉田信解市長は、2月27日に開会した平成20年本庄市議会第1回定例会において、平成20年度の市政運営の基本的な考え方と主な施策を説明しました。新しい総合振興計画によるまちづくりが始まります。以下要旨を掲載します。

本年は、昨年の12月議会で議決されました総合振興計画による10年間のまちづくりが始まる年です。本庄市の将来像を『あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち 本庄』世のため、後のため』とし、あらゆる市民が互いに手をとりあって自らまちづくりに寄与していくこと、人任せでなく、まさに「あなた」と「みんな」で安全と安心のまちを創っていくこととしたものです。

## 行政経営に関する基本的な考え方

現在のわが国では、少子化による人口減少や高齢化、国際的経済力の低下などにより、経済・社会活動の停滞や縮小が懸念され、人口減少を前提としたコンパクトで効率的な行政経営への転換が求められています。本市においても、非常に厳しい財政状況にあり、このままの状況が続けば、財政調整基金を一定金額保有することすら困難になっています。

今まで以上に「低成長経済に見合った縮減型財政への誘導と財政の健全化」、「行財政改革」と「選択と集中」を推し進めなければなりません。市民・議会・行政の三者でより危機意識を共有し、「何を為し、何を為さぬか」、「如何に為すか」を基本に据え、歳入に見合った歳出規模の行政経営体

に生まれ変わらせる必要があります。また、行政だけの取り組みでは成果を上げにくい分野が広がっていることから、今後さらに市民・企業・地域活動団体など多くの人々とさまざまな分野で協働によるまちづくりを推進したいと考えています。

このような考えに基づき、市の諸政策を推進していきますが、そのまちづくりでは、やすらぎのあるまちづくり（自然と心のふれあい、安全と安心の提供）、うるおいのあるまちづくり（地域の活性化と満足度の高いサービスの提供）、品格のあるまちづくり（人材育成と協働の推

進）、活力のあるまちづくり（交流の継承と魅力の充実）の4つをまちづくりの基本理念とします。そして健康福祉分野では「子どもからお年寄りまで、健やかで安心して暮らせるまち」、市民生活分野では「市民と行政が連携し、ともに地域を支えるまち」、教育文化分野では「明日を拓く人を育み、魅力ある文化が育つまち」、経済環境分野では「地域の価値を高め、活発な産業活動が広がるまち」、都市整備分野では「自然と人に優しく、多彩な交流が生まれるまち」、行政経営分野では「満足度の高い行政サービスを効率的に提供するまち」と分野ごとに政策の柱となる政策大綱を掲げ、市民・議会・行政のパートナーシップにより「安全と安心のまち本庄」の実現を目指します。

## 予算編成の基本的考え方

財政状況をふまえますと、簡素で効率的な行政システム確立のための

財政改革の推進と歳出の見直しによる抑制、歳入面での自主財源の確保など、効率的で持続可能な財政への転換が急務であると考えます。

また、限られた経営資源の中で協働によるまちづくりを推進し、将来像でもある「安全と安心のまち本庄」の実現を図るためには、「人づくり」の視点を重視した施策が必要になってくるものと考えます。そのため子育て支援、「教育」に力を入れ、市内外に「人づくり」に重点的に取り組む市であることをアピールしていきたいと考えています。

## 平成20年度予算案の概要

平成20年度予算案の規模は、一般・特別・企業会計合わせて434億2,960万円となります。平成19年度の当初予算額と比較しますと、7.7%の減となります。それでは、総合振興計画の分野別の政策に沿って主な施策をご説明します。





**健康福祉分野**

健康で安心して暮らせるまちは、市民の強い要望であり、まちづくりを進める際の前提といえます。

子育て支援の体制を充実させるため、千代田保育所建て替えの基本設計および実施設計を委託します。

乳幼児医療費は、窓口払いを4月から廃止し、0歳から就学前までの医療費の一部を補助します。

母子保健事業では、妊婦健康診査の補助を5回に拡大します。医療体制の充実では、在宅当番医制などの充実と病診連携に努めます。

介護保険は、予防事業を推進し、2か所の地域包括支援センターで地域全体の高齢者のケアを行います。

**市民生活分野**

市民同士、市民と行政が協力してまちづくりに取り組み、安心して暮らせる豊かなまちの実現を図ります。

人権を尊重する社会の実現では、市民一人ひとりの人権が尊重され、性別や国籍、思想などに関係なく能力が発揮される社会を目指し、本庄市男女共同参画プラン」を策定します。



危機管理体制の充実、防災行政無線の整備を進め、更新を図ります。

交通安全対策では、交通安全に対する意識の高揚を図るための啓発活動を推進します。

**教育文化分野**

平成19年度を「教育の改革・再生元年」と位置づけましたが、平成20年度も「人づくり」を最重要課題として取り組みます。

「教育振興基金」を充当する事業として、各学校から提案された学校活性化事業を支援するいきいき学校事業と、親になるみなさんなどを対象として、「(仮称)親の学習手引き書」を作成し、活用するための事業を新たにスタートさせます。

教育環境の整備では、児玉中学校の校舎改築工事と児玉小学校耐震補強工事など学校施設の安全性向上のための事業を実施します。

**経済環境分野**

活力ある本庄市を築いていくためには、市内外の力を結集し、地域資源を有効に保全・活用することが必要です。

農林業の振興では、新規就農者の確保や農産物のブランド化による生産性の高い農業経営の確立、地産地消運動の推進などに取り組みます。

商工業の振興では、中小企業の経営安定化のための各種融資の斡旋や、企業誘致を積極的に推進します。

観光・レクリエーションでは、「七福神巡り」、「こだま千本桜まつり」などを引き続き支援し、本庄市観光協会と連携した観光PRを展開します。また、本庄市の名物を創出することを目的とした「つみっこ」を定着させるための事業を展開します。

**都市基盤分野**

市民が便利で快適な生活を送り、人が集まる、賑わいのあるまちにするために、計画的にまちづくりを進めていく必要があります。

市街地整備では、本市の都市としての魅力を向上させ、大きく飛躍するための取り組みである「本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業」を速やかに進めることが重要になります。

上水道の整備では、配水管の布設などを計画的に実施し、平成21年4



月に水道事業を統合する準備を進め、水道料金を統一することに努めます。

下水道の整備では、本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業地区・緑2丁目・西五十子・長浜町地内の下水道築造工事を行います。

公園緑地の整備と緑化推進では、新たに小島西土地区画整理事業地内に街区公園を整備します。

**行財政経営分野**

市民に対して行き届いたサービスを安定して提供し、市民の暮らしを支えることが行政の使命です。

市民参加と透明性の高い行政経営の推進では、市民が計画策定などに積極的に参加できる体制を整え、行政情報の公開を進め、市民と行政の情報共有を積極的に進めます。

交通弱者の移動手段の確保・公共施設の利便性の向上を目的に、市内循環バスの運行ルートおよび運行形態を見直し、試行運行を実施します。

自主性・自立性の高い財政運営の確立では、財政健全化計画に基づき健全な財政運営を行うため、平成20年度も市債の繰上償還を実施します。